

**クマがいると思って
行動することが大事です。
身を守るための正しい知識と
必要な対策を実施しましょう。**

- ❑ 単独ではなく、複数人で行動する
- ❑ 人の存在をアピールする
 - ➡ 鈴などの音になるものを携帯し、見通しが悪い場所では声を出して移動する
- ❑ クマ撃退スプレーなどの自衛装備を持参する
- ❑ クマと遭遇した際の注意点を学ぶ
 - ➡ 背中を向けて走って逃げない
 - ➡ 両腕で顔面や頭部を覆い、うつ伏せになる



クマ鈴



クマ撃退スプレー



襲われた時の防衛姿勢

事前に行う

対策

**クマの出没に関する情報を
事前に集めましょう。**

県ホームページにクマの出没・被害状況を掲載しています。
ツキノワグマ出沒警報やクマ出沒マップも随時更新されますので
確認するようにしてください。また、クマに遭遇
した時の対処法なども記載されています。山や
森林に入る前にぜひ御一読ください。

クマに注意してください！- 青森県庁ホームページ

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kankyo/shizen/kuma_cyui.html



**山や森林は
クマの生息地！**



本リーフレットは環境省の「令和6年度クマ類の出没に
対応する体制構築及びクマ緊急出沒対応業務」で作成
しました

制作：一般財団法人 自然環境研究センター



**ツキノワグマによる
被害防止のためにできること**

**クマは
身近に
いる**

青森県自然保護課

森林に囲まれた集落

周囲が森林に囲まれた集落は、ツキノワグマを誘引する果樹（オニグルミ、ヤマブドウ、クリなど）が集落に隣接する林に無いか確認しましょう。また、集落内にあるクリやカキなどの果樹もツキノワグマをおびき寄せる原因となります。

誘引物がある場合は、果樹の実る時期に注意を払い、個人や集落で適切に管理することが重要です。



クマの誘引物となる林縁部の果樹

個人で行う対策

誘引物となる果樹は適切に管理

- ✓ 個人の敷地内の果樹は以下の方法で管理しましょう。
 - ⇒ 果樹が複数植えられている場合は電気柵を設置
 - ⇒ 果樹が単体の場合はトタン巻きや果樹の採取
 - ⇒ 不要な果樹や管理できない場合は樹木の伐採も検討

ポイント

秋に住宅敷地内のクリの木に登っていたクマとばったり遭遇した事例も。事故を未然に防ぐために対策の徹底を！



集落で行う対策

不明果樹は集落全体で管理

集落内に所有者が不明な果樹がある場合、集落全体で管理を行うことが重要です。所有者が不明な果樹を管理する場合は、行政と相談をした上で行いましょう。



個人で行う対策

環境整備により見通しの良い状態を維持

- ✓ 草に覆われた見通しの悪い環境はクマの移動経路として使われます。草刈りなどの環境整備を行い見通しの良い状態を保ちましょう。
 - ⇒ 集落周辺や林縁の見通しの悪い環境を整備
 - ⇒ 草に覆われた農地周りを整備
 - ⇒ 農地内や果樹園内は見通しのよい環境を維持

ポイント

森林から草に覆われた見通しの悪い環境を移動して、農地や集落にクマが侵入する。



集落で行う対策

林縁部の定期的な環境整備

林縁部の刈り払い、侵入防止柵の設置などを通してクマの侵入を防止します。また、草に覆われた見通しの悪い場所や河畔林などもクマの移動経路として使われるため、草刈りなどの環境整備を定期的に行いましょう。



集落に隣接する林

森林や河畔林に隣接する住宅地や農地はクマが出没するリスクがあります。刈り払いなどによる林縁の環境整備を図ることや侵入防止柵を設置するなど、人の生活圏へのクマの侵入を防ぐ対策を集落全体で行うことが重要です。

また、河畔林や草に覆われた見通しの悪い環境はクマの移動経路として使われます。定期的に環境整備を行いましょう。



森林に接する住宅地

林縁

見通しの悪い果樹園

下草の管理がされていない、果樹の間隔が狭く枝葉が重れ下がった状態のままであるなど見通しの悪い果樹園では、侵入したクマと作業者がお互いに気づかず人身被害につながっている事例がみられます。リンゴなどの果樹はそれ自体がクマの誘引物となるため、クマの侵入を防ぐために電気柵を設置

するほか、万が一クマが侵入した場合もすぐに発見できるように園内の環境整備を行い、見通しの良い状態を保ちましょう。



見通しの悪い果樹園環境

個人で行う対策

果樹園の環境整備と電気柵の設置による侵入の防止

- ✓ 電気柵の設置と維持管理によりクマの侵入を防止します。
- ✓ 果樹園内の見通しを改善する環境整備を行いましょう。
 - ⇒ 個々の果樹は適切な間隔に保つ
 - ⇒ 果樹の枝葉を適正な状態に維持
 - ⇒ 樹園内の下草を整備

ポイント

果樹園内の下草を適正に管理しているほか、枝葉の管理や果樹柵を設置した高密度栽培をすることで果樹が等間隔に植栽され、園内が見通しの良い状態を保つことができる。



集落で行う対策

クマの移動経路としての果樹園利用の防止

森林と果樹園が混在している地域では、クマの移動経路に果樹園が使われている場合があります。森林から果樹園まで続き移動経路となるような緑地や、河畔林・水路脇などを集落全体で管理しましょう。



果樹園